

2017年 カルガモ繁殖状況調査結果

(取りまとめ：粕谷和夫)

浅川の本支流はカルガモの繁殖地であり、その数を 1988 年以来毎年カウントしている。カウント調査は昨年迄と同様、浅川の本支流を 15 に区分した他、谷地川、大栗川、程久保川を含め、会員が分担して 5 月から 7 月の間に 2~3 回の現地観察によって行った。

結果は第 1 表及び第 2 表の通りで、浅川水系では親子連れの数よりは前年より少し増加したが減少傾向が続いていることは変わらない。担当者からの特記事項は以下のとおりであり、番号は第 1 表に対応している。

- 1 中村后子：水草が繁りわかりにくい。茅、蔦などが繁り河川敷下りられず探せなかった。
- 2 山浦秀雄：松枝橋下流の河川工事のせいか、子供の姿は見られなかった。
- 3 佐藤哲郎：7/2 浅川右岸北野卸売センター北側の長沼排水樋管に親 1、子 5 を確認。子はかなり大きくなっていった。
- 6 山崎悠一：7 月 11 日には、ほぼ親と同じくらいにまで成長してきた。6 月に見た時には子 11 羽だったのが 7 月には 8 羽になっていた。
- 8 対中義雄：親子連れは 6 月 13 日に宮田橋下流で確認しました。
- 9 小澤礼子：昨年以上に、川口川は水不足のため川幅が狭まり、小川ようになっていた。清水公園橋の 100 メートル程上流からは、水が干上がり河床が続いた。ヨシやセイヨウカラシナ等の背丈の高い植物が生い茂り、調査しにくい場所が多かった。
- 10 福本順吉：敷島橋～案内橋に 4 羽の成鳥、五月橋～落合橋間に 5 羽の成鳥、計 9 羽。その他の鳥種 15 種。河川敷に草木があり、チェックできない場所がある。
- 11 小池一男：調査時毎回、断続的に「水無瀬」であり、繁殖できる範囲に限られたか、調査開始から初めて「古道橋」直下で 1 組確認 (6/17)。上流側のためか、この辺りは水量はある。
- 15 門口一雄：湯殿川は 5・6 月は親子 0、単独も少なく、7 月 12 日ハト大の幼鳥 2 羽と 1-6 の孵化後 1 週間ほどの親子の組みを確認した。
6 月 2 日は親子の居そうな場所にアオダイショウが泳いでいた。
- 17 浅野恵美子：カルガモ親子が 2 組いました。1 組は 5 羽の子ガモがいて草むらに隠れるように固まって眠っていました。もう 1 組は 8 羽の子ガモがいてカラスが近くにいて 1 羽づつ堂々と草むらの上で眠っていました。両方の子ガモは 3 週間位たっているので、かなり大きくなっていました。
- 18 木澤隆雄：6/29 観測、青木橋付近でヒナ 10 羽
- 20 工藤正子：7/6 に成鳥に近いカルガモ 7 羽のグループがいました。「カルガモの親離れ」の知識がなく、判別に迷いましたが、若々しい姿や素振りから「子数」にカウントしました。
- 21 登坂久雄：大栗川橋 - 新道橋の親子連れ(1+3)はアヒル混じり。新川橋 - 常盤橋の成鳥 4 もアヒル混じり (胸の色が赤みの強い茶色)。番場公園前護岸工事中(7/2)。堰場橋下流護岸工事 5/1。7/2 時点で工事完了。大竹橋- 内田橋 ハグロトンボ 10 以上(7/2)。宮田橋(大塚宮田公園) ハグロトンボ 60 以上(7/2)

(第 1 表) 2017年カルガモ繁殖期カウント結果 (単位:組、羽)

	担当者 (代表者)	親子連れ			単独 成鳥数	カルガモ 数総計	
		組 数	親 数	子 数			
北 浅 川	①大沢橋～陵北大橋	丸山二三夫	0	0	0	7	
	②陵北大橋～松枝橋	中村后子	0	0	0	10	
	計		0	0	0	17	
浅 川 本 流	③松枝橋～鶴巻橋	山浦秀雄	0	0	0	16	
	④鶴巻橋～大和田橋	若狭誠	2	2	13	18	
	⑤大和田橋～長沼橋	佐藤哲郎	1	1	5	9	
	⑥長沼橋～一番橋	山崎悠一	4	4	24	31	
	⑦一番橋～多摩川合流	門口一雄	1	1	3	13	
計		8	8	45	121	174	
川 口 川	⑧川口橋～明治橋	対中義雄	1	1	8	10	
	⑨明治橋～浅川合流	小澤礼子	2	2	11	17	
	計		3	3	19	27	49
南 浅 川	⑩案内橋～敷島橋	福本順吉	0	0	0	9	
	⑪敷島橋～浅川合流	小池一男	2	2	15	16	
	計		2	2	15	25	42
⑫城山川(月夜峰新橋～浅川合流)		木村晴美	0	0	0	19	
⑬山田川(山田橋～浅川合流)		浜野建男	0	0	0	7	
湯 殿 川	⑭白旗橋～時田橋	長谷川篤	5	5	33	8	
	⑮時田橋～浅川合流	門口一雄	2	2	8	7	
	計		7	7	41	15	63
浅川水系の計			20	20	120	214	354
⑯程久保川(小宮橋～浅川合流)		佐藤サヨ子	0	0	0	7	
⑰谷地川(月見橋～新左入橋)		浅野恵美子	2	2	13	6	
⑱谷地川(新左入橋～田島橋)		木澤隆雄	1	1	10	2	
⑲谷地川(田島橋～多摩川合流)		傍島玲子	2	2	14	9	
⑳大栗川(鎌水～大竹橋)		工藤正子	4	4	11	25	
(21)大栗川(大竹橋～横倉橋)		登坂久雄	3	3	12	12	
総計			32	32	180	275	487

(第2表) 浅川水系におけるカルガモの繁殖状況年変化

年	親子連れ				単独成鳥	総計
	組数	親数	子数	平均子数		
1988	52	52	276	5.3	402	730
1989	45	49	228	5.1	379	656
1990	84	88	451	5.4	594	1133
1991	57	61	318	5.6	537	916
1992	54	58	272	5.0	452	782
1993	48	49	254	5.3	633	936
1994	48	49	275	5.7	623	947
1995	28	28	146	5.2	522	696
1996	36	38	194	5.4	613	854
1997	41	49	202	4.9	520	771
1998	33	36	171	5.2	434	641
1999	30	31	140	4.7	404	575
2000	23	25	113	4.9	415	553
2001	35	38	199	5.7	413	650
2002	24	25	122	5.1	339	484
2003	23	26	116	5.0	393	535
2004	25	29	159	6.4	429	617
2005	26	30	151	5.8	342	523
2006	19	22	109	5.7	349	480
2007	27	28	166	6.1	360	554
2008	23	27	105	4.6	239	371
2009	21	24	102	4.9	279	405
2010	25	29	125	5.0	258	410
2011	22	22	100	4.5	300	422
2012	19	22	99	5.2	259	380
2013	24	26	143	6	297	466
2014	10	12	61	6.1	253	326
2015	19	17	112	5.9	201	329
2016	17	18	103	6.1	211	332
2017	20	20	120	6.0	214	354

(第3表) 水系別のカルガモの親子連れ組数年次変化

年次	北浅川	浅川本流	川口川	南浅川	城山川	山田川	湯殿川	浅川水系計	程久保川	谷地川	大栗川	合計
1988	2	30	13	2	0	1	4	52				
1989	0	18	7	6	9	1	4	45				
1990	2	36	15	11	9	1	10	84				
1991	2	22	10	5	5	1	12	57				
1992	3	24	5	4	6	1	11	54				
1993	4	19	5	5	7	1	7	48				
1994	5	18	9	6	4	1	5	48				
1995	4	10	1	4	3	0	6	28				
1996	5	9	5	8	3	0	6	36				
1997	2	13	3	6	10	0	7	41				
1998	0	14	2	3	8	1	5	33	7	6	5	51
1999	2	4	9	3	7	2	3	30	5	8	2	45
2000	2	9	4	3	4	1	0	23	4	3	3	33
2001	5	9	11	3	4	1	2	35	2	5	4	46
2002	4	3	3	4	4	0	6	24	1	3	6	34
2003	2	5	6	2	3	0	5	23	1	3	3	30
2004	2	6	5	2	2	4	4	25	2	6	2	35
2005	2	5	10	4	0	0	5	26	1	2	3	32
2006	1	5	5	2	1	0	5	19	0	1	1	21
2007	1	8	5	2	1	1	9	27	1	3	1	32
2008	0	7	8	2	0	1	5	23	5	3	2	33
2009	1	7	7	1	1	2	2	21	2	5	3	31
2010	3	9	6	2	1	1	3	25	0	3	3	31
2011	0	9	3	3	1	0	6	22	3	1	1	27
2012	1	5	4	1	2	3	3	19	1	2	2	24
2013	1	7	3	1	3	2	7	24	0	4	5	33
2014	1	4	0	1	1	1	2	10	0	1	2	13
2015	3	4	5	0	1	1	5	19	1	2	1	23
2016	2	5	3	2	0	1	4	17	3	3	6	29
2017	0	8	3	2	0	0	7	20	0	5	7	32

浅川水系カルガモ親子組数の経年変化

